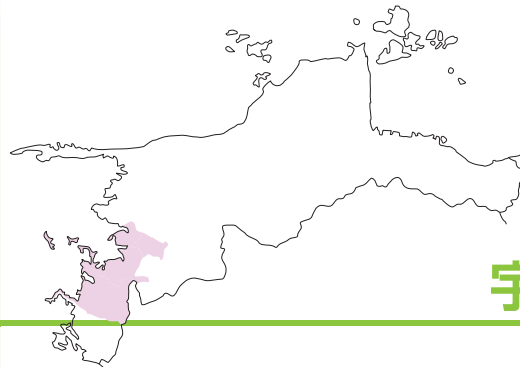


愛媛県 認定漁業士 協同組合



宇和島市

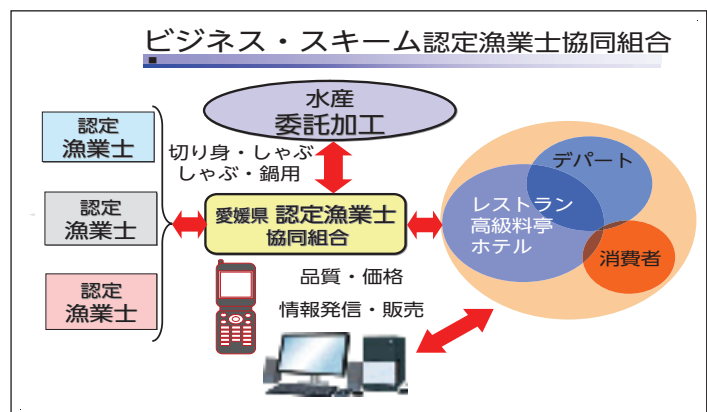
南予の認定漁業士による新養殖魚種
「マハタ」「クエ」「イシガキダイ」等の
高付加価値商品企画・販売に関する事業

1 事業内容

南予の認定漁業士が集結して事業協同組合を設立、「マハタ」「クエ」「イシガキダイ」を中心とした高付加価値商品の企画・販売に加え、独自の流通システムを構築して商社的な役割を果たしていく。

2 事業背景

愛媛県のマダイ・ブリ養殖は、全国トップレベルの生産量を誇っている。しかし近年、価格決定の主導権は大型量販店等に移行しつつあり、価格は低迷、従来型の流通・販売では経営の維持が困難になりつつある。この問題を解決するために、南予



の認定漁業士が立ち上がり、漁業としては全国初となる事業協同組合を設立。愛媛県水産研究センターで独自研究した新養殖魚種の養殖に取り組みブランド化を目指していく。

また、相対取引制度を導入し、商社的な役割を担うことで生産者の安定収入、地域活性化につなげていく。

3 事業、技術、商品の特徴

愛媛県には、魚類養殖業における競争力強化・経営高度化などを目的に、講座を通じて技術力、販売力、経営力などを身に付けた担い手に対し認定する、「認定漁業士」の制度がある。今回、南予の認定漁業士が全国初となる事業協同組合を設立し、新養殖魚種となるマハタ・クエ・イシガキダイの「宇和海」ブランド化を図り、獲れたてに近い鮮度・

品質を実現するよう魚を管理し、加工・配送・受注などの業務を行っていく。

特に首都圏・関西圏・東海圏に対しては、代理店網の整備による販路拡大を行い、消費者ニーズに適応した商品供給体制を整えていく。

4 助成内容及び効果

平成21年1月、当初29人で組合を設立。愛媛県農林水産研究所水産研究センターの指導・助言による養殖技術向上に取り組む傍ら、マーケティング活動にも注力し、「フードエキスポ」への出展等を通じて、新養殖魚種であるマハタ・クエ・イシガキダイの周知と新たな取引先の獲得に努めた。

出荷は、宇和島、今治といった県内の料理店からスタート。こうしたなか、大口先としてANAのファースト・ビジネスクラス用の機内食としてマハタの採用が決定。21年9月から11月までの3ヵ月間で約800キロのマハタとハギ3万尾が供給されることとなった。

また、加工品の開発に向けても意欲的に取り組み、地元・宇和島水産高と共同で「マハタ缶」を試作開発した。これはマハタのほか媛っ子地鶏、椎茸の媛王など、愛媛の特産品をチキンブイヨンで煮込んだ高級缶詰で、今後全国および県内の食品展等に出品するなどして、市場調査に取り組んでいく。

5 今後の展望

新たな販路としては、鍋用具材での出荷を検討しており、大手水産加工会社を通じ県外量販店への商談が進行中である。また、地元水産会社の協力により、首都圏のレストランにも売り込むほか、全国の商談会など積極的に参加し地域特産品としての認知度を高め販路拡大を図っていく。

加工品についてはマハタ缶のほか、釜飯の素など素材の持ち味を活かした新商品を開発していきたいと考えている。



松本代表

Message From Entrepreneur

やる気、根気、
あきらめない気持ち

企業概要

〔代表者〕 代表理事 松本 嘉晃
 〔住 所〕 宇和島市下波5376
 〔設 立〕 平成21年1月
 〔TEL〕 0895-49-4077
 〔FAX〕 0895-49-4077
 〔URL〕 <http://www.e-gyogyoushi.jp/>